JJ1017-16M (Ver. 3.0)	JJ1017-16S (Ver. 3.0)
世 ダリ ティ F技大分準技小分類技拡引 部位 左右体位射撮影7 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	
- L 複	2 442 442 443 443 44
必	
	:で(数字)のモダリティ分類(伝票種別)と !まで(Iと0を除く大文字英字のみ)のモダリティ分類(伝票種別)で構成する。
2 必 必 手技大分類 JJ1017委員会で定めた手技大	:分類で椿数字を使用したコードは拡張不可。(例:21・A5・1B等)
	:分類で椿00〜99までは拡張不可。 ·分類で椿00〜99までは拡張不可。
5 必 必 手技小分類 JJ1017委員会で定めた手技小	・分類で椿00〜99までは拡張不可。
6 必 必 手技詳細拡張 施設毎に小分類の下に必要な 7 必 必 手技詳細拡張 施設毎に小分類の下に必要な	詳細分類として使用する。使用可能な文字列はモダリティと同様。 詳細分類として使用する。使用可能な文字列はモダリティと同様。
8 必 必 部位 JJ1017委員会で定めた部位分	類で構成する。
9 必 必 部位 JJ1017委員会で定めた部位分 10 必 必 部位 JJ1017委員会で定めた部位分	
11 必 必 左右等 JJ1017委員会で定めた左右等	の分類で構成する。
12 必 必 体位等 JJ1017委員会で定めた体位等 13 必 必 入射・撮影方にJJ1017委員会で定めた撮影が	iの分類で構成する。 iオメトリ(入射方向・入射角度・撮影方向)の分類で構成する。
14 必 必 入射・撮影方向JJ1017委員会で定めた撮影ジ	オメトリ(入射方向・入射角度・撮影方向)の分類で構成する。
15 必 必 施設固有拡張 施設毎に自由に使用できる。 16 必 必 施設固有拡張 施設毎に自由に使用できる。	JJ1017コードを理解できない検査装置へのプロトコル番号連携に利用することを想定した。 JJ1017コードを理解できない検査装置へのプロトコル番号連携に利用することを想定した。
	`一単位で必要な詳細体位を連携する。 `一単位で必要な詳細体位を連携する。
	`一単位で必要な特殊指示を連携する。 `一単位で必要な特殊指示を連携する。
21 OP 任 核種 JJ1017委員会で定めた核種で	構成する。検査実施に核種の指定が必要な場合に使用する。
22 OP 任 核種 JJ1017委員会で定めた核種で 22 OP 任 核種 ジュード ろかぎょプロトフリフード (0	構成する。検査実施に核種の指定が必要な場合に使用する。 1040, 0008) または実施済みプロトコルコード (0040, 0260) に含めて、
	1040,0000)または美旭海のプロトコルコート (0040,0200)に含めて、 トのビットフラッグで指示する。超音波画像10Dでは、画像タイプ
25 OP 任 超音波モード (0008,0008)の第4値に含まれ 26 OP 任 超音波モード 詳しくは、超音波のシートを	
27 予約	参照のこと
28 予約 29 予約	
30 予約	
31 予約 32 予約	
* T.	